

木崎文化財研究室 新設のお知らせ

この度、弊社では社業の拡充強化を図るため、文化財調査を行う事業部門として、木崎文化財研究室を新設し、**前熊本県立装飾古墳館館長 木崎康弘先生（博士：史学）**を室長としてお迎えすることになりました。

木崎康弘先生は、熊本県教育委員会文化課で埋蔵文化財の調査に携われ、先土器時代・縄文時代の研究を専門にされておられます。また熊本県立大学等で講義を行うなど、幅広い活動を行われております。

今後は、文化財調査の全般にわたって先生のご指導をいただき、熊本の文化財調査へ貢献してまいります。



—木崎康弘先生のプロフィール—

経歴	昭和31年10月	球磨郡錦町生まれ
	昭和47年 3月	錦町立錦中学校 卒業
	昭和50年 3月	熊本県立人吉高等学校 卒業
	昭和55年 3月	明治大学文学部史学地理学科考古学専攻 卒業
	昭和55年 3月	駿台史学会賞 受賞
	昭和57年 4月	熊本県教育庁文化課 技師（現・文化財保護主事）
	平成12年 2月	明治大学 博士（史学）
	平成18年 4月	熊本県立装飾古墳館分館 温故創生館 館長
	平成21年10月	第18回岩宿文化賞 受賞
	平成23年 4月	熊本県立装飾古墳館 館長
	平成29年10月	八洲開発株式会社 木崎文化財研究室 室長

単著	平成16年7月	シリーズ「遺跡を学ぶ」豊饒の海の縄文文化・曾畑貝塚	新泉社 93p
	平成22年7月	シリーズ「遺跡を学ぶ」列島始原の人類に迫る熊本の石器・沈目遺跡	新泉社 93p
	平成29年7月	肥後と球磨 その原史世界に魅せられし人々 —肥後と球磨の考古学史—	人吉中央出版社 596p

論文	昭和56年	九州地方の細石核
	昭和63年	九州ナイフ形石器文化の研究—その編年と展開—
	平成元年	始良Tn火山灰下位の九州ナイフ形石器文化
	平成 8年	石槍の出現と気候寒冷化—地域文化としての九州石槍文化の提唱—
	平成12年	九州ナイフ形石器文化の様相（博士論文） 「遺跡形成過程研究」序説
	平成26年	ライマンの熊本県氷川町大野貝塚の発見とその意義
	平成27年	佐藤傳藏と黎明期の九州考古学—井寺古墳装飾と轟貝塚等の発見の意味を問う—
	平成29年	九州石槍文化の成立と「石槍文化」の東方波及 他、多数

所属学会 日本考古学協会、日本旧石器学会、肥後考古学会、熊本史学会 等